

はなまる



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/> E-mail:hakuihsp@po.incl.ne.jp

C型肝炎の新しい治療 ～新薬の登場～



内科医師 西野隆平

C型肝炎という肝臓病があります。C型肝炎ウイルスが血液へ入り込み、その後肝臓を徐々に壊していく病気です。血液感染ですので通常の生活で感染することはありませんが、発症し進行すれば肝硬変から肝不全になり様々な症状のために苦しい思いをすることになります。日本にはおよそ150～200万人ものC型肝炎患者さんがいると考えられています。進行すれば肝臓癌になりやすくなるという大きな問題もあり、国も治療に力を入れています。そしてこの10年間に治療は大きく進歩し、最近ようやく医療保険で認可された薬剤があります。それが「プロテアーゼ阻害剤」という新薬です。

C型肝炎の治療は、原因となるウイルスを体内から排除することが最も大切です。「ウイルスを退治する」と言えばわかりやすいでしょうか。このウイルス排除のために「インターフェロン」という注射薬が有効なのですが、完治できる確率が低く、更に効果を高めるため「リバビリン」という内服薬を併用する方法がまず編み出されました。それでもウイルスを排除できない難治の患者さんに対し、より一層効果を高めるべく「プロテアーゼ阻害剤」が開発されたのです。インターフェロンとリバビリンの2剤では先ほど述べた難治患者さんの4～5割しか治ることができませんでした。しかしプロテアーゼ阻害剤を追加した3剤併用療法により、7割以上の難治患者さんからウイルスを排除でき、完治できると考えられています。そうすれば肝硬変への進行や肝臓癌になる危険を減らすことができます。

効果が高い3剤併用療法ですが、この新薬では皮膚障害、腎不全などの副作用が強く出やすいことがわかっています。特に皮膚障害は、軽いものならじんましん程度で済むのですが、ひどい場合には全身の皮膚がはがれ命に関わるほどの状態になるという報告もあります。そのためこれまでは皮膚科医が多く常勤し、研修もできるほどの大きな医療機関でなければ新薬を使用してはならないことになっていました。ですが、皮膚障害発症から早めに対応すれば重症化をある程度食い止められることがわかり、更に金沢大学の皮膚科と十分な連携をとることで、11月から当院でも使用できることになりました。それでも十分慎重に経過をみる必要があるため、少なくとも2～3週間の入院が必要と決められています。

こうした新しい治療は多くの患者さんにとって福音です。ですが安全に使用しなければなりません。治療は日々進歩しています。C型肝炎をもっている方は放置せずに、まずかかりつけのお医者さんや当院へご相談頂きたいと思います。



肝炎ウイルス検査は最寄りの県保健福祉センター及び地域センターに相談すると無料で受けられます。肝炎治療に関する医療費の助成も整っています。肝炎が心配な方はご相談下さい。

家庭で
役立つ
情報

花粉症を予防しましょう



今年もまた花粉飛散の季節がやってきます。平成25年春のスギ花粉飛散量を予測したところ、「例年の約2倍（平成24年春の2.4倍）」という結果が出ました。飛散開始の時期は気温に影響されますが、2月下旬頃と考えられています。

(石川県農林総合研究センター林業試験場ホームページより)

こんな時 言語聴覚士にご相談ください

言語聴覚士 折戸 真須美



コミュニケーションの問題には様々な種類があります。例えば、脳卒中で倒れたおじさんやお婆さんの言葉が上手く出なくて困っているらしい、うちの子少し言葉が遅いのかな？など言葉の問題、何を言っているのかわかりにくいなどの発音の問題、風邪をひいていないのに最近声の調子がおかしいなど声の問題、大きな音でもビクともしないや聞き返しが多いなどの聞こえの問題などがあります。

また、コミュニケーションとは直接関係がなくても、お茶や食べ物でよくむせるようになったなど飲み込みの問題（嚥下の問題）があります。

このような言葉・声・聞こえに問題を持つ方々が、家庭・学校・社会の中でその能力を十分に発揮し、より豊かなコミュニケーションを築いていけるように、言語聴覚士は言語・音声・聴覚に関する検査・訓練・指導など専門的な援助を行います。また、飲み込みの障害を持つ方の問題（摂食・嚥下）にも取り組んでいます。



特に子どもは年齢に応じた言葉の発達があり、生まれてから両親や周りの方の適切な言葉かけの環境があってはじめて、言葉を聞いて理解する力と話す力を獲得していきます。ところが色々な原因で言葉の発達の遅れや発音の問題がみられることがあります。

その問題には、単語が増えない・質問に答えられない・文にならない・一方的に話すだけなど言葉の発達の遅れ、不明瞭で何を言っているのかわからないなど発音が悪い、言葉がつまって出にくい吃音（きつおん）がある、鼻にかかる・声がこもるなど声が悪い、などいくつかの種類があります。

これらの問題の原因の1つとして耳の聞こえの問題があります。難聴があると周りの言葉かけが多くても、聞き取れる言葉が少なくなり発音が正しく聞き取れないため、言葉の発達や正しい発音の獲得に影響を及ぼします。難聴が疑われるときの状態として、乳児期では大きな物音や騒音に驚いたり不快感を示さない、人の小声やささやき声に反応しない、音の出るおもちゃに反応しないなどがみられます。また幼児期では、話し声が大きい、テレビの音を大きくする、聞き返しが多い、不明瞭な発音が多い、ことばの発達の遅れが疑われるなどがみられます。

言葉の発達にとって幼児期はとても大切な時期です。そして、言葉の問題に気づいてあげられるのは一番身近な両親や周りの大人の方です。言葉の発達を心配されている方は、まず小児科を受診していただきリハビリテーション科で言語の予約を取ってください。また聴力の低下が疑われる方は耳鼻科を受診し聴力検査をしていただきます。どうぞ言語聴覚士にご相談ください。



金沢大学医薬保健学
科能登谷晶子先生編
集の本が完成しまし
た。興味のある方は
1度読んでみてくだ
さい。

▶▶ 花粉症の予防対策 ◀◀

1. 晴れた日、風の強い日は外出を控える。
2. 外出時はマスク、めがね、帽子を着用する。市販のマスクは効果があるが使い捨てにする。
3. 帰宅したら玄関で花粉を払い落とす。
4. 帰宅したら、顔を洗う、鼻をかむ、うがいをする。
5. 過敏で、症状の強く出る人は、医師から初期投薬（第Ⅱ世代抗ヒスタミン）を受ける。
6. 花粉情報を新聞、テレビ、ラジオ、ネットで知る。
7. 症状が強く出たときは医師に相談する。

（石川県医師会ホームページより）



災害拠点病院としての取組み



副院長補佐兼血液浄化センター看護師長 荒井謙一

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」は甚大な被害をもたらし、被災地においては本来の病院機能が破綻する病院もありました。その中で災害時の医療救護活動において中心的な役割を担うべき災害拠点病院は、医療が崩壊したともいえる被災地において、被災者に対する医療提供という本来のあるべき分野ばかりでなく、被災者が生活を営む上で必要な情報集積・発信基地（自衛隊・各自治体など）としても大きな貢献をもたらしました。停電による漆黒の闇の中で、病院の明かりは被災者に勇気と希望を与えたという事です。

当院は平成22年12月に石川県で9番目の災害拠点病院に指定されてから、「東日本大震災」時の医療班（宮城県）・原発事故対策医療班（福島県）の派遣、年に何回か実施する災害訓練などを通して病院職員のキャリアアップを図り、更に災害拠点病院として求められる設備の増改築を行うなど、ソフト・ハードの両面において取組みを行う事によって災害対応力の強化に努めてきました。

災害拠点病院が行うべき機能は下記の通りです。

- 1) 重症傷病者に対する救命医療（まず第一に命を救う）
- 2) 重症傷病者の受け入れと搬送（搬送手段としてヘリポート、緊急車両などの整備が必要です）
- 3) 災害医療救護班の派遣機能（医師・看護師・調整員から構成される医療チームの派遣を行います）
- 4) 地域の医療機関への応急用資機材の貸出機能（他の医療機関が必要とする物品の貸出を行います）

今後は、住民の皆さまに参加していただけるような「住民参加型院内災害訓練」などの実施を通して顔の見える関係を作り上げて、地域全体で災害対応力の強化を進めていきたいと考えております。

「イザ！その時」に機能し信頼できる災害拠点病院であるため、様々な面で尚一層の努力をしております。

災害患者受け入れ訓練

平成24年度は12月12日（水）午後1時～2時に災害患者受け入れの訓練を行いました。能登有料道路上で観光バスの横転事故が発生し、10人の災害患者さんを受け入れるという想定でした。平日の診療体制での受け入れで、院内防災組織の早急な立ち上げと役割分担の把握に重点を置いた訓練でした。増改築した外来でスムーズに行動できるか検証しました。問題点が明らかになりましたので、より確実な受入態勢の整備に努力します。

併せて病棟停電時の対応方法の検証、災害時の衛星電話の使用方法の練習も行い、有意義な訓練となりました。



やさらぎコンサート

今年も、毎年恒例のハンドベル演奏が開催されました。白百合幼稚園年長組の13名の園児たちが来院し、かわいい歌声と、優しいハンドベルの音色を披露してくれました。最後は患者さん一人一人と握手する場面もあり、ふれあいのひとときが過ぎました。園児の温かい手のぬくもりに触れ、患者さんたちも癒されたことと思います。



社会福祉士 井上麻有子



認知症研修会

平成24年12月3日（月）に地域包括医療推進委員会主催で「認知症の病態理解と支援」というテーマで羽咋市地域包括支援センターと共同で研修会を行いました。

県立高松病院の認知症看護認定看護師の多幡明美さんに講師に来ていただき、せん妄と認知症の違いと対応方法、地域のかかりつけ医と専門病院のどちらを受診すればいいかの判断の仕方などを学びました。認知症は早期に発見し早期治療を開始することで進行を遅らせることも可能で、専門医受診に早く結びつけることが大切であると解りました。

地域の介護保険事業所からの多数の参加があり、病院と地域の皆さんと共通の理解を得ることができました。



12月末から管理棟部分を建て直し

公立羽咋病院では、平成25年12月の完成を目指し、耐震増改築工事を行っています。これまでに工程1の西側増改築部分、工程2の病棟改修、工程3の東病棟の管理部門への改修工事が済み、昨年12月末からは管理棟の解体、新管理棟の増築工事へと進んでいます。何かとご不便をお掛けすることと存じますが、次の点にご注意ご協力ください。

- ① 12月25日より正面玄関での車寄せが出来なくなっています。車寄せから乗り降りされる方は、病院西側の時間外出入口をご利用ください。なお、正面玄関は、平成25年2月末をもって利用できなくなり、3月からの出入口及びタクシー・病院車の乗り降りは、全て時間外出入口となります。
※ 救急車の入口が横にありますので、駐停車は、駐停車禁止区域外でお願いします。
- ② 解体、増築工事の期間は駐車場の混雑が予想されますので出来るだけ公共交通機関のご利用をお願いします。また、駐車場は、病院正面と西側駐車場をご利用ください。
- ③ 工事車両等には十分ご注意ください。

今後の工事予定（変更する場合があります。）

工程	工事期間	工事概要
4	25年 1月～25年 3月	撤去工事（管理棟閉鎖後）
5	25年 4月～25年10月	増築工事（新管理棟）
6	25年10月～25年12月	外構工事（新管理棟付近）

問い合わせ先 公立羽咋病院 総務課管理係 TEL 22-1220



職員募集

1. 募集職種、採用予定人数

職種	予定人数	受験資格
薬剤師	2人	①昭和48年4月2日以降に生まれた方（平成25年4月1日現在40歳未満） ②資格を有する方、または平成25年4月末までに資格を取得する見込みの方
言語聴覚士	1人	①昭和38年4月2日以降に生まれた方（平成25年4月1日現在50歳未満） ②資格を有する方、または平成25年4月末までに資格を取得する見込みの方
看護師	8人程度	①昭和38年4月2日以降に生まれた方（平成25年4月1日現在50歳未満） ②資格を有する方、または平成25年4月末までに資格を取得する見込みの方

2. 採用予定年月日 平成25年4月1日

3. 申込書

- ①ホームページよりダウンロードできます
- ②窓口で直接受け取る場合 公立羽咋病院総務課で交付
- ③郵便で請求する場合 封筒の表に「職員採用試験請求」と朱書きし、120円切手を貼った返送先明記の返信用封筒（角形2号、33cm×24cm程度）を同封し、請求して下さい

4. 受付期間 随時

◆お問い合わせ・申込み◆

〒925-8502 羽咋市の場町松崎24番地 公立羽咋病院総務課・職員係 ☎0767(22)1220

看護部より

羽咋病院では、就業支援として

- ・育児短時間勤務制度
- ・部分休業
- ・未就業看護職員再就業支援

を実施しています。

子育て中の方、再度働いてみようと思っていられる看護師の方、私たちと一緒に働きましょう。



新しくなった 病棟の掲示板

各病棟の看護補助員さんが飾ってくれました。

いきいき健康づくり教室

♪どなたでも参加できます♪

「コレステロール・あぶらで血がどどど」

開催予定日: 2/6(水)、3/6(水)

第1水曜日 15:00~
場所・1階ホール

「高血圧・塩で血管がパンパン」

開催予定日: 1/21(月)、2/18(月)、3/18(月)

第3月曜日 15:00~
場所・1階ホール
内科医師、薬剤師、栄養士、看護師

「ねたきりにはならない！」

開催予定日: 1/23(水)、2/27(水)、3/27(水)

第4水曜日 15:00~
場所・1階ホール
整形外科、理学療法士、看護師

ありがとうございます

♥ なぎさ表紙題字・絵手紙
辻口 敦子 様

♥ 写真 羽咋写真協会の皆様

♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様

♥ 俳句 宝達志水町若輩会
岡部 和子 様 他

♥ 園児の絵 粟ノ保保育所 クリスマス
千里浜保育所 へび年と雪だるま
とき保育園 2013がんばること

♥ 菊の花 通院患者様

